

佐賀建設新聞

発行所
 株式会社 建設新聞社
 〒849-0301
 小城市牛津町乙柳1145-7
 TEL 0952-66-5750 (代)
 FAX 0952-66-5751
 購読料 月額5,940円(税込)
 毎週火・木・土曜日発行
 日本専門新聞協会会員

唐津で技術研修会開催

環境、地すべり対策工法学ぶ

ミラクルソル協会など

ミラクルソル協会(原裕理事長)など4団体で主催する技術研修会が18日、唐津市の高齢者ふれあい会館「りふれ」であった。

コンサルタント会社や建設会社、自治体などから約130人の技術者が参加し、環境や地すべり関連の工法について知識を深めた。

技術研修会は▽ミラクルソル協会▽佐賀県

ジオファイバー協会▽佐賀県ニューレスプ協会▽SSLアンカー工法協会1の主催で、佐賀県地質調査業協会が後援。2部構成となっており、第1部で環境、第2部で地すべり対策をテーマに様々な研修が行われた。

冒頭、原理事長は

「社会基盤を守るのが

地元建設業の役割であり、初期対応が非常に重要。本日は環境に配慮した工法や多様な地すべり対策工法を学び、さまざまな災害に対応してほしい。また、地すべり工事士の普及促進にも取り組むたい」と挨拶した。

第1部では原理事長



講演する原裕理事長



ジオファイバー工法などの説明を行う日特建設㈱の阿南祐二部長

が「多目的環境材料ミラクルソルの環境負荷低減技術」の演題で講演。ガラス廃材でつくったミラクルソルの特長やミラクルソルを使った工法を紹介した上で、「工法選定の段階で安全・機能性や経済性に加え、環境および耐久性の指標を持つて工法を選ぶ必要がある。そういう意味でもミラクルソル工法は有効な工法であり、東京

オリンピックの開催に向けFWG・透保水性舗装工法、水質浄化システムなど関係機関に提案している」と説明した。

続いて、日特建設㈱技術部の阿南祐二部長がジオファイバー工法やニューレスプ工法の概要および設計施工の留意点を解説。その中で「ジオファイバー工法は連続繊維(ポリエステル)と砂を混ぜて法面を保護するもので、コンクリートを使わないため環境にやさしい。京都の清水寺でも施工実績があり、地震に強いのが特長」と話した。



会場の様子

第2部では「地すべりの多様な地盤特性に適合したSSLアンカー工法(講師は国土防災技術㈱技術部の小野征一郎長)」、「グラウンドアンカー健全性調査(講師はサンスイ・ナビコ㈱営業開発部の小町理部長ら)」のほか、パネルディスカッションや質疑応答などが行われた。